

令和8年度新潟大学農学部第3年次編入試験  
生物資源科学プログラム

小論文

米は日本の食文化の基盤を成す重要な食材であり、品質の高い米の安定供給は、食料安全保障のみならず、経済の持続可能性や社会の安定に密接に関わっている。米の品質評価には、農産物検査法の品位規格に基づいた等級制度が用いられている。被害粒や未熟粒を除いた整った米の割合は「整粒歩合」と定義され、整粒歩合が高いものから順に一等米、二等米、三等米、規格外米の等級が定められている。等級は米の価格を決定する重要な指標であるため、高い等級の米を生産することが生産者の利益となる。以下の2つの問いに答えよ。

I. 図は2006年から2024年の新潟県における水稻うるち玄米一等米比率の推移を示しており、表は同期間の新潟市における8月の日平均気温の推移と平年値を示している。これらのデータから8月の気温と一等米比率の関係を3カ年（2010年、2019年、2023年）について言及しながら考察し、解答用紙No.1に400字以内で論じよ。特に、8月の日平均気温と平年値との差について必ず言及すること。

II. 水稻の一等米比率を上昇させるための方法や方策を、400字以内で解答用紙No.2に述べよ。

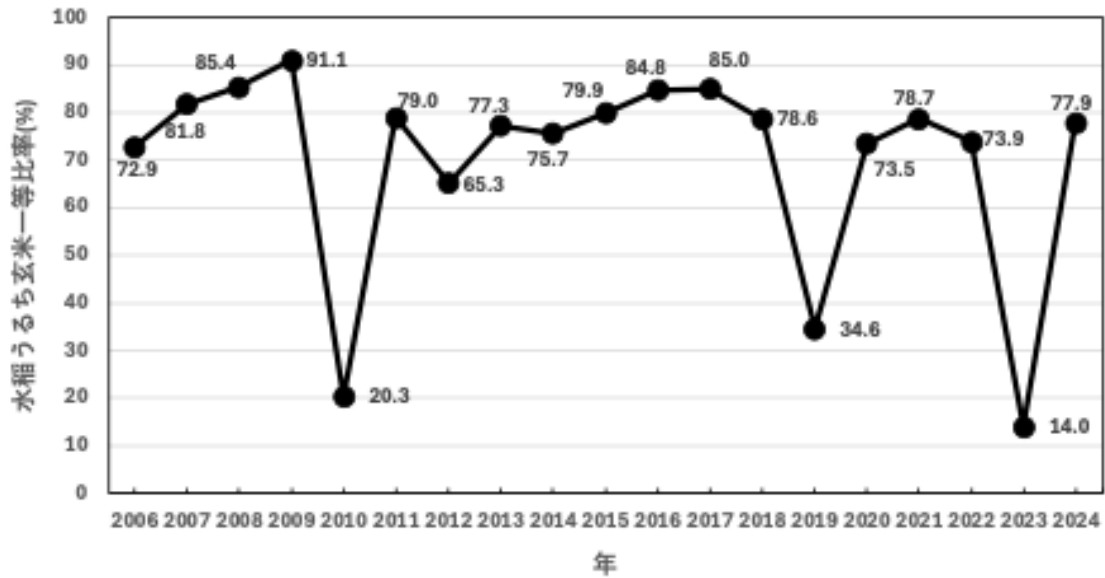


図 新潟県の水稲うるち玄米の一等米比率（2006～2024年）  
資料：農林水産省 米穀の農産物検査結果等より作成

表 新潟市での8月の日平均気温  
(2006～2024年と平年値)

年	8月の日平均 気温 (°C)
2006	27.8
2007	27.0
2008	25.8
2009	24.9
2010	29.0
2011	27.0
2012	27.9
2013	26.9
2014	26.1
2015	25.8
2016	27.0
2017	26.2
2018	26.6
2019	27.5
2020	27.7
2021	26.7
2022	26.6
2023	30.6
2024	28.0
平年値	26.5

資料：気象庁 HP より作成